

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和7年7月～9月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況 (%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年7～9月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				前期（令和7年4～6月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				今期（令和7年7～9月）と比べた 来期（令和7年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I		—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	42.9	33.9	23.2	19.6	30.9	40.0	29.1	1.8	38.2	45.5	16.4	21.8
2 採 算	18.5	59.3	22.2	△ 3.7	20.8	54.7	24.5	△ 3.8	28.3	52.8	18.9	9.4
3 仕 入 単 価	71.4	26.8	1.8	69.6	50.9	45.5	3.6	47.3	56.4	41.8	1.8	54.5
4 従 業 員 数					1.8	85.5	12.7	△ 10.9	3.7	90.7	5.6	△ 1.9
5 資 金 繰 り					13.5	63.5	23.1	△ 9.6	17.6	64.7	17.6	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況 (%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	27.3	50.9	21.8	5.5		32.7	50.9	16.4	16.4		0.0	74.5	23.6	△ 23.6

2、経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1 位	2 位	3 位	全体	経営上の問題点	1 位	2 位	3 位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	23.3	8.3	6.7	38.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	5.0	5.0	15.0	25.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	3.3	3.3	1.7	8.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	3.3	1.7	3.3	8.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	1.7	0.0	1.7	10 事 業 資 金 の 確 保 難	5.0	8.3	5.0	18.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	23.3	18.3	8.3	50.0	11 需 要 の 停 滞	6.7	5.0	10.0	21.7
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	1.7	1.7	3.3	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	3.3	3.3
6 人 手 不 足	8.3	6.7	6.7	21.7	13 そ の 他	5.0	1.7	0.0	6.7
7 人 件 費 の 増 加	6.7	16.7	8.3	31.7	無 回 答	10.0	21.7	30.0	—

注) 「全体」＝（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年7～9月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				前期（令和7年4～6月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				今期（令和7年7～9月）と比べた 来期（令和7年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	55.6	33.3	11.1	44.4	22.2	22.2	55.6	△ 33.3	55.6	33.3	11.1	44.4
2 採 算	12.5	87.5	0.0	12.5	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	50.0	37.5	12.5	37.5
3 仕 入 単 価	100.0	0.0	0.0	100.0	77.8	22.2	0.0	77.8	77.8	22.2	0.0	77.8
4 従 業 員 数					11.1	66.7	22.2	△ 11.1	11.1	77.8	11.1	0.0
5 資 金 繰 り					14.3	42.9	42.9	△ 28.6	28.6	57.1	14.3	14.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	11.1	44.4	44.4	△ 33.3		33.3	33.3	33.3	0.0		0.0	77.8	22.2	△ 22.2

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	11.1	22.2	22.2	55.6	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.1	0.0	44.4	55.6
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	22.2	0.0	0.0	22.2
4 原 材 料 高 及 び 不 足	33.3	11.1	0.0	44.4	11 需 要 の 停 滞	0.0	22.2	0.0	22.2
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	11.1	11.1
6 人 手 不 足	11.1	0.0	11.1	22.2	13 そ の 他	11.1	0.0	0.0	11.1
7 人 件 費 の 増 加	0.0	44.4	11.1	55.6	無 回 答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」=（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 人手不足等で大口取引先が2店閉店された。人手不足、人材不足の解消が第一。タイミー活用、DX化を進めている。
- ・ コロナ資金の返済負担が大きく、資金繰りに苦慮している。
- ・ 10月いっばいで取引先が閉店するなどマイナス要因が多い中、売上も減少しやすい状況。新規顧客や開拓や、個人向け商品の開発と販売でマイナス分を補えるかが鍵。
- ・ 原材料価格の大幅な上昇への対応。

《 建 設 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年7～9月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				前期（令和7年4～6月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				今期（令和7年7～9月）と比べた 来期（令和7年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	50.0	37.5	12.5	37.5	42.9	42.9	14.3	28.6	42.9	42.9	14.3	28.6
2 採 算	50.0	50.0	0.0	50.0	28.6	57.1	14.3	14.3	14.3	71.4	14.3	0.0
3 仕 入 単 価	75.0	25.0	0.0	75.0	42.9	57.1	0.0	42.9	42.9	57.1	0.0	42.9
4 従 業 員 数					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り					28.6	57.1	14.3	14.3	16.7	66.7	16.7	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	50.0	50.0	0.0	50.0		50.0	50.0	0.0	50.0		0.0	75.0	25.0	△ 25.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	37.5	12.5	0.0	50.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	12.5	0.0	12.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	12.5	12.5	12.5	37.5
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	12.5	0.0	12.5	25.0
4 原 材 料 高 及 び 不 足	12.5	25.0	12.5	50.0	11 需 要 の 停 滞	12.5	12.5	12.5	37.5
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	12.5	25.0	37.5	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	12.5	0.0	0.0	12.5	無 回 答	0.0	12.5	25.0	—

注) 「全体」=（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 原材料高が原因で需要が停滞。夏の暑さの影響で受注も減少。建設業全般で仕事が少ないように感じる。特に民間工事は実質賃金下がっていることが影響している。
- ・ 外注する大工さんなど職人さんの手間賃の単価上昇。大工不足のため、高い単価でないと確保できない。
- ・ 社員の高齢化に伴い、50歳以下の若い働き手がいらない。高温化により無理が出来ず、作業能率が下がってしまい出来高が上がらない。
- ・ 価格転嫁がしにくい。見積もりを出した後に材料費が上がる。

《卸 ・ 小 売 業》	
1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況	(%)

	Ⅰ 今期の状況（前年同期と前期との比較）								Ⅱ 来期の見通し			
	前年同期（令和6年7～9月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				前期（令和7年4～6月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				今期（令和7年7～9月）と比べた 来期（令和7年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	37.5	18.8	43.8	△ 6.3	31.3	31.3	37.5	△ 6.3	43.8	37.5	18.8	25.0
2 採算	18.8	43.8	37.5	△ 18.8	26.7	40.0	33.3	△ 6.7	37.5	50.0	12.5	25.0
3 仕入単価	56.3	37.5	6.3	50.0	37.5	50.0	12.5	25.0	50.0	43.8	6.3	43.8
4 従業員数					0.0	87.5	12.5	△ 12.5	6.3	93.8	0.0	6.3
5 資金繰り					18.8	68.8	12.5	6.3	25.0	68.8	6.3	18.8

今期の状況

2、経営上の問題点

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

- ・今年も商品価格が上がり、新規購入は減少傾向。簡単に買い替えが出来ないぐらい商品価格が高騰。大型店で安価な商品が手に入るため、アフターサービスを充実を進める。
- ・引き続き価格は高止まりしている。客単価を上げたいと考えているが、市内の競合店が1店舗増えた。松江7社、米子9社と近隣市でも競合店が増えていることが不安。
- ・売上を伸ばすために、出張販売や新商品開発、固定費の見直しなどの取り組みを進めている。客数を増やすことは中々難しいので、今のお客様をとにかく大切にする。
- ・商品のクオリティーを保ちつつ、海外産の材料を国産にするなど工夫し、粉や卵など原価の低い材料を有効利用した商品開発をするなど作り手の手腕が問われている。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和6年7～9月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				前期（令和7年4～6月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				今期（令和7年7～9月）と比べた 来期（令和7年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	18.2	72.7	9.1	9.1	27.3	63.6	9.1	18.2	9.1	81.8	9.1	0.0
2 採 算	10.0	80.0	10.0	0.0	18.2	81.8	0.0	18.2	10.0	90.0	0.0	10.0
3 仕 入 単 価	45.5	54.5	0.0	45.5	27.3	72.7	0.0	27.3	27.3	72.7	0.0	27.3
4 従 業 員 数					0.0	90.9	9.1	△ 9.1	0.0	81.8	18.2	△ 18.2
5 資 金 繰 り					0.0	81.8	18.2	△ 18.2	9.1	81.8	9.1	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	27.3	72.7	0.0	27.3		36.4	54.5	9.1	27.3		0.0	81.8	18.2	△ 18.2

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	7.7	0.0	0.0	7.7	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	7.7	7.7	0.0	15.4
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	7.7	0.0	0.0	7.7	9 取 引 条 件 の 悪 化	7.7	0.0	0.0	7.7
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	0.0	7.7	7.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	7.7	15.4	0.0	23.1	11 需 要 の 停 滞	7.7	0.0	7.7	15.4
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	7.7	7.7
6 人 手 不 足	7.7	15.4	0.0	23.1	13 そ の 他	7.7	0.0	0.0	7.7
7 人 件 費 の 増 加	7.7	7.7	0.0	15.4	無 回 答	30.8	53.8	76.9	—

注) 「全体」=（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ デジタル化の相談は増えているものの、経営者が多忙なため実行に移すことが出来ないという問題が表面化している。
- ・ 経費節減を継続中。今、来ていただいているお客様に質の高いサービスを提供していく。
- ・ 秋の最低賃金上昇により、経費上昇が経営を圧迫すると予想。女性を雇用することが多いため、結婚・出産後に長く勤務していただけないことが課題。
- ・ チェーン店との価格競争。少しでも出費を抑えたい気持ちから、チェーン店と当店を使い分けるお客様あり。

《飲 食 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和6年7～9月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				前期（令和7年4～6月）と比べた 今期（令和7年7～9月）の状況				今期（令和7年7～9月）と比べた 来期（令和7年10～12月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	58.3	16.7	25.0	33.3	33.3	41.7	25.0	8.3	41.7	33.3	25.0	16.7
2 採 算	8.3	50.0	41.7	△ 33.3	16.7	41.7	41.7	△ 25.0	25.0	25.0	50.0	△ 25.0
3 仕 入 単 価	91.7	8.3	0.0	91.7	75.0	25.0	0.0	75.0	83.3	16.7	0.0	83.3
4 従 業 員 数					0.0	81.8	18.2	△ 18.2	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り					9.1	54.5	36.4	△ 27.3	9.1	45.5	45.5	△ 36.4

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
	27.3	45.5	27.3	0.0		18.2	63.6	18.2	0.0		0.0	60.0	40.0	△ 40.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	25.0	0.0	8.3	33.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	16.7	16.7	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	16.7	0.0	16.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	41.7	33.3	16.7	91.7	11 需 要 の 停 滞	8.3	0.0	25.0	33.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	16.7	0.0	8.3	25.0	13 そ の 他	0.0	8.3	0.0	8.3
7 人 件 費 の 増 加	8.3	16.7	8.3	33.3	無 回 答	0.0	8.3	16.7	—

注) 「全体」=（1位＋2位＋3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック、今後の課題・方針など（調査対象事業所からの意見等）

- ・ コロナ融資の返済が重くのしかかる。物価高、エネルギー高、人件費高で経営は厳しい。少人数の観光客は多いので、11月から金～日の夜営業を再開する。
- ・ 価格の見直しなど考えないといけませんが、売上減少の不安がある。
- ・ ビールの樽も始めたころから3,000円くらい値上がりしている。9月は伸び悩んだが、酒屋さんが他所も少ないと言っていた。お客さんの来店回数は減っている。
- ・ 二次会、三次会のお客様がすごく少ない。